

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)

会場：奥武山水泳プール

ゲームNo.

13

帽子の色 白

金沢市立工業

4

2	-	3
1	-	4
0	-	1
1	-	1
	PS	

帽子の色 青

鹿児島南

9

審判1： 牧田 和彦

審判2： 大坂 淳

戦評

2回戦は接戦ながら選手交代を巧みに使い、試合巧者の戦いを見せたインターハイ3連覇中の金沢市立工業高校と、1・2回戦とも圧倒的な力で相手を寄せ付けず勝ちあがってきた柏崎潮風カップ覇者の鹿児島南高校との一戦。雨が降りしきる中、エキサイティングな戦いが期待される。

第1ピリオド

鹿南③長谷川がセンターボールをとり試合開始。金市工は鹿南⑥加治木を警戒したディフェンスから果敢に攻撃をするが鹿南①木之下のファインセーブ。4:00鹿南④田村が右ポストでワンタッチシュートを決め先制点。3:21鹿南②園田が退水攻撃時に追加点をあげる。金市工は⑦嶋本がドライブから退水誘発し2:14⑤新田が1点を返す。1:34鹿南⑦荻原が誘発後自ら得点。1:04⑦嶋本が退水攻撃時に得点し再び1点差。決めるべき選手が得点し、気持ちが激突する。(金市工2-3鹿児島南)

第2ピリオド

7:36鹿南⑥加治木がゴール前ワンタッチで得点。負けじと6:54金市工⑤新田も退水攻撃時から得点。お互い一步も譲らない攻防が続く。GK金市工①三谷、鹿南①木之下が好セーブを連発。3:13鹿南②園田が打点の高いシュートで追加点をあげる。金市工は組織的なディフェンスで味方選手をカバーし合うが2:41鹿南⑦荻原が隙をつき得点。1:29⑤都田がカウンターで相手GKの頭上を射抜くシュートで得点。鹿南4点のリード。金市工は退水からでなく、得意のカットインから点を取り反撃したい。(金市工3-7鹿児島南)

第3ピリオド

6:52鹿南④田村が強烈なミドルシュートで鹿南はここまで4連続得点。追いつきたい金市工から鹿南が多彩な攻撃で追加点を奪っていく。お互いに決定機を作るも点が入らない均衡状態、鹿南②園田が落ち着いてゲームメイクする姿も見られたが、金市工もタイムアウトで流れを渡さない。3ピリオド終盤、金市工は退水誘発されるも⑤新田がナイスカットで危機を救い、その流れでペナルティシュートを誘発するも不発。(金市工3-8鹿児島南)

第4ピリオド

金市工は②笠間がセンターバックに入り、プレスディフェンスに切り替え逆転を狙う。鹿南は③長谷川が懸命に泳ぎリードブレイクし、7:00⑥加治木が試合を決定づけるかのように追加点をあげる。粘りたい金市工、コーナーからボールに合わせて2:55④佐賀が得点。最後まで懸命に泳ぎ続ける両校、鹿南はディフェンスに一切手を抜かない。金市工はアーリーオフENSEを繰り返すが、9-4で鹿南が勝利を収めた。(金市工4-9鹿児島南)

金市工は⑦嶋本にボールを集め得点を狙ったが、鹿児島南のディフェンスに阻まれる事が多かった。4連覇を目指し、懸命に闘う金市工選手の姿に称賛を送りたい。鹿児島南は多彩な攻撃に目がいきがちだが、準決勝では堅実なディフェンスにも注目したい。激戦を制した鹿児島南の今後の活躍に期待がかかる。

記録者

砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)

会場：奥武山水泳プール

ゲームNo.

14

帽子の色 白

那覇西

10

1	-	3
1	-	0
2	-	3
4	-	2
2	PS	4

帽子の色 青

埼玉栄

12

審判1： 福元 寿夫

審判2： 西椋 尚史

戦評

2回戦序盤は苦しい展開であったが、後半に入り持ち前の攻撃力を発揮し勝ちあがってきた両チーム。インターハイ上位入賞の常連校埼玉栄高校に、大声援を力に変え地元那覇西高校が勝利を収める事ができるか。会場に那覇西の大応援団の声援が響き渡る中、試合が始まろうとしている。

第1ピリオド

埼玉栄④中山がセンターボールをとり試合開始。先制点をあげたのは那覇西⑥登川。7:00③仲本からパスを受けゴール前で力強くパワープレー。6:11埼玉栄⑤太田剣がカウンターから同点に追いつく得点をあげる。その後お互い手の内を探るかのような攻防が続くが、埼玉栄⑤太田剣が2:22ゴール前から、1:31退水攻撃時から自身3連続得点をあげる。流れを変えたい那覇西、決定機を作るも埼玉栄①森岡の好セーブが逆襲を阻む。(那覇西1-3埼玉栄)

第2ピリオド

点を返したい那覇西はGK①森永が気迫のセービング～埼玉栄のミスを誘い、退水誘発も不発。均衡状態が続いたが2:44那覇西⑤砂邊のミドルシュートが決まり、会場の歓声とともに那覇西は勢いを取り戻す。埼玉栄もGK①森岡が1ピリオドに続き、ファインセーブを連発。両校のGKの活躍が光る攻防に会場のボルテージもあがる。埼玉栄主将④中山と那覇西主将③仲本のマッチアップも見どころである。

(那覇西2-3埼玉栄)

第3ピリオド

7:27那覇西③仲本がカウンターから得点をあげ、6:42技ありループシュートで連続得点。那覇西が流れをつかむかと思われたが、5:40埼玉栄⑤太田陸が退水攻撃時にシュートを真コーナーに決め、同点に追いつく。3:36埼玉栄③今が退水攻撃時に得点し再び埼玉栄リード。一進一退の攻防で玄人好みのしびれるシーソーゲームが展開されていく。0:49埼玉栄⑨松尾がディフェンスからの飛び出しから相手の前に入り追加点で2点差にする。

(那覇西4-6埼玉栄)

第4ピリオド

6:59埼玉栄⑦針谷がカウンターから3点差に広げる得点を奪う。那覇西は必死のディフェンスから5:28⑤砂邊が相手選手を回し込みGKの頭上を越えるループシュートを決め2点差に縮めるが、4:25埼玉栄③今のロングシュートが那覇西ゴールに突き刺さる。粘る那覇西は退水誘発からペナルティシュートを誘発。3:26③仲本が得点、2:47にもフリースローシュートから連続得点をあげる。埼玉栄は力を発揮し始めた那覇西③仲本を守り、逃げ切りたい。0:41那覇西③仲本がペナルティシュートを決め同点。迫る那覇西の攻撃を埼玉栄GK①森岡が渾身のセービングをした所で、今大会初のペナルティ合戦へ突入。12-10で埼玉栄が激戦を制した。

(那覇西10-12埼玉栄)

激戦。この言葉がふさわしい一戦となった。大声援が送られ続けた那覇西、劣勢の展開も最後まであきらめず粘り強く戦った。劇的勝利を収めた埼玉栄は、持ち前の力を見せつけ準決勝へと駒を進めた。埼玉栄がこの先どのような戦いを見せてくれるか、期待したい。最後まで会場を盛り上げた観衆の皆さまにも感謝申し上げたい。

記録者

砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)
会場：奥武山水泳プール

ゲームNo. 15

帽子の色 白

帽子の色 青

四日市中央工業

8 $\left(\begin{array}{ccc} 3 & - & 1 \\ 1 & - & 5 \\ 2 & - & 4 \\ 2 & - & 1 \\ & & \text{PS} \end{array} \right)$ 11

秀明英光

審判1: 梶原 洋祐

審判2: 黒崎 千智

戦評

前試合、パワープレーを得意とする相手を力・技・スピードで圧倒し勝ちあがってきた四日市中央工業高校と、最後までスピード感あふれるカウンター攻撃を繰り広げ勝利を収めた秀明英光高校との戦い。

第1ピリオド

四中工⑦山田船がセンターボールをとり試合開始。秀明⑨角野がカウンターから右サイドを駆け上がりGKの脇を抜く先制点。四中工は7:10④畑がカットインからミドルシュートを決め同点、6:27⑤谷がカウンターで追加点をあげる。秀明はカウンターを繰り出すも、逆に3:48四中工④畑がカウンターから2点差とする得点をあげる。お互いにポストプレーのケアするディフェンスが見られる(四中工3-1秀明)

第2ピリオド

秀明はカウンターから6:25⑦青山が得点し、1点差に迫る。5:25四中工④畑が退水攻撃時に素早いワンタッチシュートを決める。ここで離されたくない秀明は退水誘発後、タイムアウトを要求。思惑通り4:29⑨角野がゴール前でパスを受け得点。続く3:41⑤一年生大江がミドルシュートを決め、同点に追いつく。タイムアウトの得点から流れは秀明に傾き始めたか。四中工もノーマークの決定機を作るが、秀明GK①河田が頭で止める好セーブ。秀明は1:16⑤大江に得点、0:26⑦青山の相手を欺くフリースローからのループシュートで2点リード。4連続得点で、効果的なタイムアウトをとったと言える。(四中工4-6秀明)

第3ピリオド

秀明は勢いを止めず6:51⑩中村が相手GK頭上を射抜く得点、6:35⑨角野がカウンター、4:59⑩中村がカウンター、4:24④コップがカウンターから連続得点を続けた。途中、四中工もタイムアウトを要求するも流れが止まらない。四中工は4:10連続カットインからパスをつなぎ、⑤谷が点を返す。さらにプレスディフェンスに切り替え、逆転を狙い怒涛の攻撃を繰り返していく。0:58④畑が相手をかわし連続得点。早い攻撃を展開し続けたいところ。(四中工6-10秀明)

第4ピリオド

6:06四中工⑥小林がミドルシュートを決め3点差に詰め寄っていく。時間をうまく使いながら攻撃する秀明。早い攻撃を仕掛けていきたい四中工。7:28秀明⑨角野が再び4点差に広げる。四中工はGK①鈴木がセーブを続けながら声を張り上げる。⑩城も懸命に前線で泳ぎまわる。2:19④畑から②山田凧がワンタッチシュートで得点をあげるが、11-8で秀明が逃げ切った。(四中工8-11秀明)

試合冒頭は両校とも主導権を譲らない展開が続いた。秀明は2ピリオドのタイムアウト後8連続得点が相手チームに大きなダメージを与えた。四中工も後半、早い展開を繰り返したが序盤でついた点差は大きかった。敗れはしたものの3年生の力強いプレーは頼もしく、1・2年生のフレッシュなプレーは見ていて次年度を期待させるものであった。秀明は準決勝でも電光石火のカウンターを見せつけるか、注目が高まる。

記録者 砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)
会場：奥武山水泳プール

ゲームNo. 16

帽子の色 白

帽子の色 青

明治大学附属中野

9	{	1	-	2	}	10
	4	-	3			
	2	-	3			
	2	-	2			
	PS					

鳥羽

審判1： 塩崎 正一

審判2： 石谷 啓輔

戦評

ここまで盤石の戦いぶりで相手を圧倒してきた両チーム。明中、鳥羽どちらも洗練されたディフェンスから繰り出されるカウンター合戦が見られるか。

第1ピリオド

鳥羽⑥渡邊がセンターボールをとり試合開始。6:23鳥羽⑥渡邊がゴール前で先制点をあげる。明中は幾度となく退水を誘発し、0:51明中⑦渡邊十が同点に追いつく得点。鳥羽も0:04⑤藤原がミドルシュートで得点し鳥羽のリードで1ピリオド目を終える。鳥羽は⑥渡邊が攻撃・守備時にプール内を泳ぎまわりチームを鼓舞する。明中もチャンスを実に点数にしたい。(明中1-3鳥羽)

第2ピリオド

鳥羽は7:35⑤藤原のドライブからの得点、3:46⑨本部の得点、3:01⑥渡邊がポストプレーからの得点で4点差に広げる。明中は⑥越智大が退水攻撃時に得点し、1:09⑨古谷がミドルシュートで、⑤富永が攻撃転換時に素早くパワープレーに仕掛け、ペナルティを誘発し自ら得点、0:00⑦渡邊十がバックシュートで同点に追いつく怒涛の4連続得点。前半は同点となり、後半の攻防に注目が集まる。(明中5-5鳥羽)

第3ピリオド

6:34鳥羽⑪尾池が退水攻撃時に得点。明中は⑤富永が相手陣地に居残り、素早い攻撃を仕掛けたいか。明中②宇治家がカウンターからシュートを放つも鳥羽GK①岡田がファインセーブ。4:00明中③狭間がワンタッチシュートを決め、再び同点となる。鳥羽が2:47⑪尾池のミドルシュート、2:11⑥渡邊のカウンターと連続得点しリード。明中もすかさず1:50③狭間が得点し反撃する。1点差の攻防が続く。鳥羽は②岡本の堅実なディフェンス、1年生⑪尾池の積極的なプレーも目立った。(明中7-8鳥羽)

第4ピリオド

3年生同士である明中⑤富永と鳥羽②岡本、鳥羽⑥渡邊と明中③狭間のマッチアップも見ものの展開。5分頃明中は退水誘発したところでタイムアウトを要求。ここを鳥羽が守りきり、鳥羽1点リードのまま緊迫の攻防が続く。同様に2:41鳥羽⑨本部がディフェンスから抜け出し退水誘発したところで鳥羽タイムアウト。2:27⑤藤原が落ち着いて決め、点差は2点差に広がる。2:08明中⑥越智大が意表を突くミドルシュートで追いつくも、鳥羽⑥渡邊が退水攻撃時に得点し、再び2点差。3点差に広げようと鳥羽はカウンターを繰り出すが、明中①渡辺浩も好セーブ。0:27タイムアウト後③狭間が意地のパワープレーで1点差。最後は②岡本を中心に落ち着いて時間をうまく使い、10-9で鳥羽が勝利を収めた。(明中9-10鳥羽)

好ゲームが続く本大会の準々決勝の最終戦。明中はリードされても最後まで必死で追い上げ続けた。ただ試合冒頭に退水誘発を繰り返すも決定率が低かったか。対する鳥羽は退水時の得点率が高く、一度も明中にリードを許す事なく試合を展開した。落ち着いた戦いぶりは見事であった。次戦は秀明英光高校との一戦。

記録者

砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)
会場：奥武山水泳プール

ゲームNo. 17

帽子の色 白

鹿児島南

15

3	-	1
2	-	2
5	-	0
5	-	5
PS		

帽子の色 青

埼玉栄

8

審判1: 福元 寿夫

審判2: 塩崎 正一

戦評

3連覇中の金沢市立工業に勝ち、勢いに乗る鹿児島南高校と、地元那覇西との激闘を制し準決勝に勝ち上がった埼玉栄高校との一戦。

第1ピリオド

鹿南③長谷川がセンターボールをとり試合開始。埼玉栄はプレスディフェンス、ゾーンディフェンスを併用し、鹿南の攻撃を防ぐ。鹿南は右ポストの⑥加治木、左サイドからのポストプレーを仕掛ける。5:32鹿南が⑦荻原の強烈なフリースローシュートで先制する。3:38⑤都田が左ポストからのパワープレーで追加点。埼玉栄は④中山を中心に攻撃し、2:26⑥山本が豪快なミドルシュートを決め1点差に。再び山本はチャンスを作りシュートを放つが、おしくもGK①木之下に阻まれる。鹿南は0:19⑤都田がカウンターからワンタッチシュートを決め2点差とする。

(鹿児島3-1埼玉栄)

第2ピリオド

埼玉栄④中山が技ありのループシュートで1点差。鹿南はカウンター、パワープレー、退水誘発と多彩な攻撃を仕掛けるが、埼玉栄GK①森岡の好セーブ連発で守る。3:55⑥加治木がゴール前ワンタッチシュートで得点。相手のミスから3:02埼玉栄④中山がノーマークで得点し1点差。1:59鹿南⑦荻原が得点し再び2点差となる。鹿南の攻撃を埼玉栄は、キャプテン④中山を中心に選手間の連携のとれた素晴らしいディフェンスで防いでいる。

(鹿児島5-3埼玉栄)

第3ピリオド

7:34鹿南⑥加治木のフローターシュート、6:59鹿南⑤都田の退水攻撃時の得点と4点差になったところで、埼玉栄がタイムアウト。流れを食い止め、得点を奪いたい。6:30鹿南④田村がゴール前で粘り強く浮き上がり得点し、流れは鹿南のままか。埼玉栄は守備から攻撃転換時にフライングサブスティテューションを活用し、選手交代を行う。埼玉栄も攻撃時ボールを動かし、ポストプレーで得点を狙う。3:08鹿南⑫平手が退水攻撃時にシュートをコーナーに決め、更に点差を広げていく。鹿南は退水守備時から飛び出し、1:26⑧江崎翔のワンタッチシュートが決まる。ここにきて良く泳ぐ鹿児島。③長谷川の献身的な泳ぎがダメージを与えている印象さえ感じられる。鹿南は一気に5点を奪い、7点差とする。

(鹿児島10-3埼玉栄)

第4ピリオド

勢いは止まらず7:04鹿南④田村がカウンターから追加点。さらに5:49鹿南⑤都田がロングパスを受けミドルシュートを決める。4:50鹿南④田村がゴール前で得点。連続得点を止めたい埼玉栄。4:13⑦針谷が退水攻撃時、ゴール前のこぼれ球を押し込み得点をあげる。さらに3:07④中山がミドルシュートで埼玉栄、連続得点を奪う。2:18鹿南⑪内野がカウンターから得点。その後、埼玉栄は1:19④中山、0:53③今、0:24③今の3年生得意地の連続得点を見せるが、0:01鹿南⑨江崎貴に得点を奪われ、15-8で鹿南が決勝へと駒を進めた。

(鹿児島15-8埼玉栄)

埼玉栄は前半、プレス・ゾーンをうまく使い巧みなディフェンスを見せた。GK①森岡は今日2試合ともめざましい活躍を見せた。明日の3位決定戦では今試合の悔しさを晴らすため、チーム全員で勝利を目指してほしい。鹿児島南は3ピリオドに相手を大きく引き離れた。技術はもちろん、しっかりとした泳力の高さも感じられる展開で、勢いに乗ったら止められない強さがある。明日は優勝を目指し全力プレーを見せてほしいものだ。

記録者

砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)
会場：奥武山水泳プール

ゲームNo. 18

帽子の色 白

帽子の色 青

鳥羽

秀明英光

11	$\left(\begin{array}{ccc} 2 & - & 3 \\ 5 & - & 2 \\ 1 & - & 1 \\ 3 & - & 4 \\ & & \text{PS} \end{array} \right)$	10
----	---	----

審判1: 牧田 和彦

審判2: 黒崎 千智

戦評

8年ぶりの準決勝進出を果たした鳥羽高校と4年連続の決勝進出を目指す秀明英光高校との一戦。

第1ピリオド

鳥羽⑥渡邊がセンターボールをとり試合開始。7:24秀明⑪中村が先制点をあげ会場を盛り上げる。鳥羽も6:59⑤藤原がゴール前で回し込み得点しすぐさま同点。両校ともに懸命に泳ぎ、カウンター、ゴール前、ミドルシュートとシュートチャンスを作り出すも得点にはならない展開が続く。退水攻撃時に1:38秀明⑪中村が得点、1:06秀明またしても⑪中村がカウンターで追加点。鳥羽も0:13⑫藤井がフリースロー解除からループシュートを決め、点差は1点差。(鳥羽2-3秀明)

第2ピリオド

秀明⑦青山ゴール前からフックシュートで得点し2点差。5:54鳥羽⑥渡邊が退水誘発時に得点し1点差。4:55秀明⑦青山が前試合同様のフリースローから意表をつくループシュートで2点差となるが、4:31鳥羽⑫藤井が退水攻撃時に渾身の得点、3:57鳥羽⑥渡邊がペナルティシュートを誘発、自ら得点し同点に追いつく。秀明⑪中村の攻撃を鳥羽②岡本がよく守っている。2:24鳥羽⑦高橋がミドルシュートを決めて3連続得点で逆転する。鳥羽⑨本部がカウンターからペナルティシュートを誘発、0:20⑥渡邊が得点し7-5鳥羽リードで後半へ。(鳥羽7-5秀明)

第3ピリオド

反撃したい秀明はプレスディフェンスからカウンターで得点を狙いたいところ。3ピリオド冒頭、少人数カウンターを出した鳥羽であったが、秀明⑨角野がナイスパスカットを見せる。約6分間のラリーを制したのは秀明。1:55秀明④コップがカウンターで得点し1点差に詰め寄る。1:04鳥羽⑥渡邊がパスを受け振り向きざま、目の覚めるような強烈なミドルシュート。8分間戦い同点の接戦。勝負は4ピリオド目に。会場の声援も大きくなり、注目が高まっていく。(鳥羽8-6秀明)

第4ピリオド

6:25パスカットからノーマークで鳥羽⑥渡邊が抜け出し3点差に広げる。秀明ベンチはタイムアウトを要求。流れを呼び込む事ができるか。その後、鳥羽も⑥渡邊を中心に時間をうまく使いながらゲームメイクをしていく。コントロールできるか。4:55秀明⑦青山が右サイドを駆け上がりゴール前の⑪中村へ。ペナルティ誘発、⑪中村が落ち着いて決める。すぐさま4:34鳥羽⑥渡邊、これでもかとディフェンスをものもしないミドルシュートを決める。まだまだ諦めない秀明は3:27⑩竹村がカウンターで得点し、2点差に詰め寄る。突き放すかのように2:08鳥羽⑥渡邊がハンドアップをかわしフリースローシュートを決めたところで、秀明は再びタイムアウトを要求。ここから秀明の追い上げが始まる。早めの攻撃から退水誘発、1:41④コップが得点。さらに1:00⑩竹村が退水攻撃時の得点で1点差。追い上げムードは高まる。残り19秒で秀明GK河田も敵陣に入りパワープレーにできるが、鳥羽11-10で逃げ切った。最後まで会場は大盛り上がりの好ゲームであった。(鳥羽11-10秀明)

秀明選手の最後の追い上げは強豪の名にふさわしい戦いぶりであった。3位決定戦では埼玉栄との埼玉対決となるが、今試合のような名に恥じる事のない全員がひとつにまとまった戦いを見せ勝利をつかみたいところ。決勝進出を果たした鳥羽高校。②岡本のディフェンス、⑤藤原のオフェンス、エース⑥渡邊の力を存分に発揮しながら、全員水球で優勝をつかみとりたい。鳥羽高校対鹿児島南高校との決勝戦。明日の決勝戦に注目したい。

記録者 砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一